大阪府臨床検査技師会
検体管理システム部門 特別講演会のご案内

近年、多くの病院で電子カルテが一般的になってきており、すでに、いくつかの病院では長期間に渡る大量の診療情報や臨床検査データが蓄積されています。今後、臨床研究や診療支援において、大量に蓄積された臨床検査データを利用することが求められ、臨床検査技師は、データベースの扱いに対するスキルが必要となってきます。

そこで今回、検体管理システム部門では、特別講演会として「臨床検査データの管理と活用」をテーマとした講演会を企画しました。データベースおよびデータウェアハウスの基礎知識、長期間蓄積されたデータウェアハウスのデータの利用方法、そこから得られる新たなエビデンス、などについて講演していただきます。

時間のある時に各自で学習できるようなコンテンツを用意し、データベース初学者・中級者にとって、ためになる講座となっています。どうぞお楽しみに！

「臨床検査データの管理と活用」

1．データベース･データウェアハウスの基礎

講師：日本オラクル株式会社　千葉大輔

2．データウェアハウスにおける臨床検査データの利用

講師：大阪大学大学院医学系研究科医療情報学　真鍋史朗

3．検査情報データからの新たなエビデンス創造

講師：高知大学医学部附属医学情報センター　片岡浩巳

日 時：平成 25 年 6 月 15 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分
場 所：大阪医科大学 新講義実習棟 P 302
参加費：1,000 円（会員）3,000 円（非会員）
生涯教育点数：基礎教科 20 点
医療情報技師ポイント： 1 点（予定）
※この講演会は医療情報技師の更新ポイント対象になっています。
ポイント付与を希望される方は、講演会当日、**医療情報技師認定カード**をお持ち下さい。

連絡先：ＪＲ西日本健康増進センター 大江泰浩（systembumon@oamt.jp）
（メールでお問い合わせの際は、件名のヘッダに「＜検体管理＞」と付けてください）